

しゃぶしゃぶbuffet しゃぶ葉 静岡

豊富な野菜と数種類のたれと出汁で、全て食べ放題として色々なお召し上がり方を楽しめます。自家製のカレーとデザートにソフトクリームもご用意。
ソフトドリンクバー(200円・税別)とアルコール飲み放題120分(男性1,500円、女性1,200円・税別)もあります。アルコールの飲み放題をご利用戴くと、全ての御利用時間が120分に延長され、お得になりますのでお勧めです。

TEL.054-205-3262
静岡市葵区 紺屋町17-1 葵タワーB1F
営業時間／
[ランチタイム]
11:00-17:00(ご入店16:00まで) ※土日祝日スルー営業
[ディナー・タイム]
17:00-23:00(ご入店22:00まで)

■しゃぶしゃぶ食べ放題コース80分[ランチ限定]
.....1,199円(平日・税別)
.....1,299円(土日祝・税別)

■国産牛&三元豚食べ放題コース
ランチ80分.....2,499円～(税別)
ディナー100分.....2,999円～(税別)

■スペイン産イベリコ豚&牛肉食べ放題コース
ランチ80分.....1,999円(税別)
ディナー100分.....2,399円(税別)

※各コース小学生・幼児価格別途・3歳以下無料(幼児・3歳以下ソフトドリンク付き)

※フェア内容により、2種類限定のお出汁が変わります。

※その他、ご来店時にお得なクーポンのご用意も御座います。



Ticket de Smileサービス
ランチ5%OFF
ディナー10%OFF



AOI
コミュニケーション
ひろば
お客様の声

これまで来たことがなく、期待半分で来てみましたが、予想以上に良かったです。来年も行われるのであれば、是非聴きに来たいと思っています。(12/27 第10期ピアニストのためのアンサンブル講座 修了記念コンサート ご来場者より)

ご来場、まことにありがとうございました。このコンサート(修了記念コンサート)は約1年かけて行われる、ピアニストのためのアンサンブル講座(全10回)の第10回目のカリキュラムとして開催され、静岡音楽館倶楽部のみなさまは無料でお聴きいただけます。講座の講師陣は第一線で活躍されている一流の演奏家です。修了記念コンサートでは受講生の演奏のほかに講師陣による演奏も披露されます。

来年度の講座はヴァイオリン、ヴィオラ、声楽(メソソプラノ)とのアンサンブルで実施いたします。もちろん修了記念コンサートもございますので、どうぞまたお越しくださいませ。講座は一般にも公開しており、講師陣の演奏を直に聴けるまたとないチャンスです。こちらまでぜひ一度ご来場ください。お待ちしております。

静岡音楽館倶楽部会員の皆さまへ

お名前、ご連絡先、銀行口座等、ご登録内容に変更が生じた場合は、速やかに下記までご連絡ください。なお、平成28年度をもって退会をご希望のかたは、平成29年2月末日までに、静岡音楽館倶楽部事務局へ退会届をご提出ください。ご提出のない場合は自動更新となりますので予めご了承ください。

静岡音楽館倶楽部 法人会員(2016年2月末現在)50音順

- | | |
|-------------------|-----------------|
| ●(株)アオイテレテック | ●(株)タミヤ |
| ●(株)SBSプロモーション | ●(株)戸田書店 |
| ●かわした歯科クリニック | ●(有)丸吉事務機 |
| ●コココーライーストジヤパン(株) | ●(株)メディア・ミックス静岡 |
| ●(株)サンタモンコーポレーション | ●静岡ターミナルホテル(株) |

コンサートシリーズ2016-17
主 催 静岡音楽館AOI 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団
特別協賛 静岡信用金庫
協 賛 アイワ不動産 ANSHINDO
ホテル センチュリー 静岡
片瀬建設株式会社

次のことを予めご了承の上、チケットをお求めください。
皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

- ※ 価格は税込です。
- ※ 都合により内容を変更する場合があります。
- ※ お客様のご都合によるチケット代の返金、座席の変更は致しかねます。
- ※ 場内での飲食、写真撮影、録音、録画は固くお断りいたします。
- ※ 携帯電話、アラーム付時計等の使用はご遠慮ください。
- ※ 他のお客様の鑑賞の妨げとなる行為は固くお断りいたします。
- ※ 静岡音楽館AOIは、施設の構造上、会場準備が整わない状態(開場時間前)で、お客様を8階ホールへご案内することができないため、通常エレベーターは7階止になっております。開場時間になるまで1階エレベーター前か、7階ロビーでお待ちください(ただし、1階エレベーター前でお待ちいただいたお客様を優先してご案内いたします)。
- ※ 静岡音楽館AOIが主催するコンサート(一部を除く)では、未就学児は入場いただけません。

託児サービス(AOIの主催事業に限りです)
要事前予約(1週間前まで)・託児料:1人¥1,000
すわん TEL.054-255-5377(9:00~21:00)
留守番電話の場合は、お名前・電話番号を録音してください。

JR静岡駅北口を出てすぐ左 静岡中央郵便局 合同建物内

●静岡市美術館 ●松坂屋

至 浜松 国道1号線 至 東京

(有料) P (有料) P

至 浜松 駐輪場(有料) ●パルシェ JR静岡駅 ●ホテルアソシア静岡

東海道本線・新幹線 静岡科学館る・くる ●ホテル センチュリー静岡

CONCERT HALL SHIZUOKA
静岡音楽館 AOI

月曜日休館(ただし祝日開館、翌日休館) 9:00~21:30開館
〒420-0851 静岡市葵区黒金町1番地の9
お 問 合 せ
054-251-2200 AOI 検索

AOI通信

静岡音楽館倶楽部情報誌
MARCH 2016 No.81

春号



ティエリー・ミログリオ パーカッション・ライヴ “Next Plus”

アレクサンダー・ロマノフスキー ピアノ・リサイタル



コンサートレポート 「白い風、夜の歌」

静岡音楽館AOIコンサートシリーズ
2016-17



ティエリー・ミログリオ パーカッション・ライヴ “Next Plus”

コンサートシリーズ2016-17の幕開けを飾るのは
フランスが世界に誇るパーカッションの貴公子

ティエリー・ミログリオ パーカッション・ライヴ“Next Plus”
～ソロ・パーカッションとライヴ・エレクトロニクス“世界最先端”の音楽とその潮流～

です。

このコンサートでは、みなさまを様々な打楽器の世界へご案内します。

打楽器のみの作品もあれば、エレクトロニクスが入る作品や、映像を使用した作品もあります。

使う楽器も多種多様です。どうぞご期待ください。

2016
5/3 火・祝
22歳以下
¥1,000

15:00 開演 (14:30 開場)
全指定 ¥3,000 (静岡音楽館倶楽部会員¥2,700) [Pコード=280-007]

出 演
ティエリー・ミログリオ (パーカッション)

曲 目
K.サーリアホ：3つの川ーデルタ ～ソロ・パーカッションとライヴ・エレクトロニクスのための～ (日本初演)
B.マントヴァニ：ル・グラン・ジュ ～ソロ・パーカッション、エレクトロニクスとビデオのための～
野平一郎：新作 ～ソロ・パーカッションとライヴ・エレクトロニクスのための～ (世界初演)
J.-M.フェルナンデス：ホモトピー ～ソロ・パーカッションとライヴ・エレクトロニクスのための～ (日本初演)
P.エトヴェシュ：稲妻 ～ソロ・バス・ティンパニのための～
I.フェデレ：メタル・イースト・ジャーニー ～ソロ・パーカッションのための～ (2016年度静岡音楽館AOI委嘱作品・世界初演)

セット券
情 報
“打”楽器 セット券 ¥4,000
(静岡音楽館倶楽部会員¥3,600) *発売日は【第1期】と同じ

①5/3 (火・祝)
ティエリー・ミログリオ パーカッション・ライヴ“Next Plus”
②10/1 (土)
インドネシア・バリ島の音楽“ジェゴグ”

関 連
事 業
**T.ミログリオによる
パーカッション・ワークショップ**
5/4 (水・祝) 15:00～17:00 (14:30開場)

静岡市清水文化会館マリナート リハーサル室 無料 (要申込)
T.ミログリオが公開レッスンを実施。

講演会
「作曲家の視点から」
5/3 (火・祝) 13:00～14:30

おはなし：I.フェデレ、野平一郎
静岡音楽館AOI 講堂 (7階) 無料 (要申込)
2016年度静岡音楽館AOI委嘱作品の作曲家のお話を直に聞ける絶好の機会です。



写真：相田憲克



© Gilles Plagnol

今回の演奏会はたくさんの打楽器の音色とリズムとの間の魅惑的な旅にたとえられます。

現代の6名の重要な作曲家の音楽を通じ、作品 (3つの世界初演を含む) が諸文化と対話しています。東洋と西洋が出会うのです。

エレクトロニクス、音楽、映像が組み合わさって、ひとつの響きになることでしょう。ぜひ、お聴きください。そしてご覧ください。

ティエリー・ミログリオ

ティエリー・ミログリオは1963年生まれのフランスの打楽器奏者で、非常に卓越したテクニックと知性あふれる演奏がとても魅力的です。昨秋、彼のレクチャーをきく機会がありましたが、話し出したら止まらない、深い知識、内容の濃さに驚き、時間があつという間に過ぎてゆきました。その姿勢に、多くの作曲家から信頼され、初演をまかされる理由を見た思いがしました。また、そのレクチャーでは実演もあり、今回のコンサートで演奏する曲を一部分聴くことができました。ほんの一部分でしたが、非常にすばらしく、ぜひ全曲を聴いてみたいとなりました。

彼の演奏をどうぞお楽しみに。

関本淑乃 (静岡音楽館AOI学芸員)

こんな楽器を使用します (予定)



など

7月にAOIに初登場するピアニストのアレクサンダー・ロマノフスキー。
ブゾーニ国際ピアノコンクールで優勝し、世界へと羽ばたきました。
彼のロマンティズムあふれる演奏をどうぞご堪能ください。



Alexander Romanovsky

アレクサンダー・ロマノフスキー ピアノ・リサイタル

2016

7/7 木
22歳以下
¥1,000

19:00 開演 (18:30 開場)
全指定 ¥4,000 (静岡音楽館倶楽部会員¥3,600)
[Pコード=280-010]

出 演
アレクサンダー・ロマノフスキー (ピアノ)

曲 目
R.シューマン：アラベスク ハ長調 op.18
トッカータ ハ長調 op.7
謝肉祭 op.9

M.ムソルグスキー：組曲《展覧会の絵》



2016年は私にとって大切な年になります。3回訪日
するのです。

4月に「東京・春・音楽祭」で室内楽を、5月は東京
交響楽団定期演奏会 (2回目) に出演し、プロコフィエ
フのピアノ協奏曲第3番を共演します。そして、7月には
日本センチュリー交響楽団と初共演し、静岡音楽館
AOIで初めてリサイタルを行います。

静岡でのリサイタルも今回がはじめてです。日本の
聴衆は多様な演奏スタイルを受け入れ、アーティスト
の解釈や作品に対する意思を理解してくださいませ。
今回のプログラムはシューマンの小品と、ムソルグス
キー《展覧会の絵》です。詩情とロマンティズムにあ
ふれた内容です。ご期待ください。

静岡の皆さんとお会いできるのを大変楽しみにして
います。コンサートでお会いしましょう。

アレクサンダー・ロマノフスキー

学 芸 員 雑 記

展 覧 会 の 絵

静岡音楽館AOI 学芸員 小林 旬

ロシア5人組のひとり、モデスト・ムソルグスキー(1839～81)が作曲した《展覧会の絵》(1874)はピアノのための組曲だが、むしろ、フランスのモーリス・ラヴェル(1875～1937)の編曲による管弦楽版(1922)で世に親しまれ、私もそれで聴き慣れていた。「管弦楽の魔術師」、「スイスの時計職人」と評されたラヴェルらしく、緻密にオーケストラを扱い、豊かな色彩による絢爛な絵巻が展開される。あと、イギリスのロック・バンド、エマーソン・レイク・アンド・パーマーによる《展覧会の絵》(1971)も、初めて聴いたときはつい笑ってしまったけれど、渾身の衝動力、あれはあれでなかなかすごい。しかし、私が今まで聴いたなかでもっとも衝撃的だったのは、じつは、静岡音楽館AOIで聴いたコンサートだった。AOIの主催ではなく、1999年、「モスクワ国立音楽院&常葉学園短期大学教授によるセミナー」で来演したロシアの巨匠ラザール・ベ

ルマン(1930～2005)の演奏だ。手もとに、ベルマンが1977年に録音したCDもあるが、パワフルではあるけれど模範解答的。だが、その夜に聴いたのは、貫禄はたっぷりながらも、巨匠然とした感じではなく、おそらくはラヴェルの管弦楽版で失われてしまったであろうロシアの土の匂いを感じられて、《展覧会の絵》は、じつはこんな音楽だったのか、と眼から鱗の想いだった。

7月7日、またAOIで《展覧会の絵》を聴くことができる。アレクサンダー・ロマノフスキー、やはりロシアのピアニストだ。でも彼は、どちらかといえば繊細なピアニストだ。ベルマンとはまったく違う《展覧会の絵》で魅了してくれることを期待している。音楽を聴く愉しみとは、クラシックに限らずロックでもジャズでもなんでも、そのときそのときの演奏の、そのときそのときにしかない魅力を聴くことにある。

CONCERT REPORT コンサートレポート

間宮芳生の声Ⅱ「白い風、夜の歌」アメリカ・インディアン神話による 柴辻 純子 (音楽評論家)

寒さの厳しい1月最後の土曜日、静岡音楽館AOIホールに出かけた。ホール内に入ると、舞台正面に飾られた大きなタペストリーがまず目に飛び込んできた。楽器のようなものを吹いている人物が描かれている、公演チラシにも印刷された、あのデザインである。いつもとはちょっと違う。それだけでもわくわくさせられるコンサートだ。

「白い風、夜の歌」。このなんともすてきなタイトルは、この日に演奏されたふたつの作品に由来する。当ホールの初代芸術監督の間宮芳生の《白い風ニルチツイ・リガイが通る道～最初の男と女はトウモロコシの実から生まれた～》と藤枝守の《夜の歌》で、いずれも1990年代に国立劇場からの委嘱で作曲された。ともにネイティブ・アメリカンのナバホ族の創世神話を題材に書かれ、英文学者、金関寿夫の日本語訳による著書や翻訳詩から着想を得ている。

間宮芳生の《白い風》は、ナバホ族の伝承神話をもとに、能楽師たちによって謡われる謡曲として作られた。テキストも間宮の作である。海の底の下なる世界と地上世界の二層の物語で、シテ役(清水寛二)が朗々と響く声で語った。その心地よい抑揚のついた語りど、シテを支える地謡の力強さと響きが対比される。一方、後半で登場するワキ役(鵜澤久)は、天界の神々のシンボルとして柔らかく神秘的な響きで流れるように謡った。能楽師たちの発する言葉は、張り詰めた緊張感を作り出しながらも、豊かで深く広がりがあり、芯のある声で耳にしっかり届いた。舞台では彼らを取り囲むように正面左右に配置された3人の打楽器奏者(松倉利之、和田光世、石崎陽子)が、土笛、口琴、クロタル、ウインド・チャイムなど、プリミティブな音色をもつ楽器で、深い海の底の様子や風が渦巻く様を、控え目ながらも想像力をかき立てる響きで描いた。

後半の藤枝守《夜の歌》は、1993年の初演以降、ホールに限定せず美術館やギャラリー等で再演が重ねられ、少しずつかたちを



間宮芳生：白い風ニルチツイ・リガイが通る道 (国立劇場委嘱作品)

変えているという。今回は、AOIホールヴァージョン。ナバホの儀式のなかで描かれる「砂絵」に着目した作品で、まずは舞台の四隅に座った4人の声(つむぎね)が、向かい合って絶えず息を送り込む。すると客席中央通路から吹物(石川高)が土笛を吹きながらゆっくりと舞台に向かって歩き、ぐるりと回ってスタート位置に戻る。「風の化身」である吹物は楽器を変えながら、その後も打楽器の打物(高田みどり、安江佐和子)、ゴシックハーブを抱えた弾物(西山まりえ)、そして朗唱(波多野睦美)を順番に引き連れ、合計4回、砂絵を描くように奏者を舞台の所定の場所へと導く。朗唱が唱える呪文のコトバは、ナバホの口承詩に基づくものだ。

こうした儀式的な反復が繰り返されるなか、音楽は、様々な場所で鳴り響き、音が立ち現われた。私たちの身体に刻まれている時間感覚は揺るがされ、皮膚感覚も研ぎ澄まされていくようだ。すると夜の帳に閉ざされた暗闇で微かに風が動くように感じられたり、生き物の気配のような生温かさや精霊が現れるような瞬間があったりと、現実と空想の境目を漂うような不思議な世界が開かれた。

今回は、途中でオルガン(塚谷水無子)の演奏に導かれて挿入歌としてパパゴ族の詩による「青い夜が降りてく」と、最後に終の唱として「今日は死ぬのにもってこいの日」が歌われた。メゾ・ソプラノの輪郭のくっきりとした声がホールを満たし、とりわけ最後の「today is a very good day to die」の言葉の反復が、呪文のように響くのも印象的だった。

伝承の響きが生み出す世界に、歌詞をもつ歌やオルガンが入り、さらに弾物をゴシックハーブとしたことで、儀式に新たな層が積み重なり、中世ヨーロッパを思わせる風が流れた。静かな余韻を味わいながら、新たな展開をみせたこの作品が含みもつ不思議な魅力に思いを巡らせた。



藤枝守：夜の歌 (静岡音楽館AOI ホールヴァージョン)

撮影：日置真光

静岡 室内楽フェスティバル2016

第6回アマチュア・アンサンブルの日♪
申込締切／4月29日(金・祝) 必着
今年もアマチュア・アンサンブルの日♪を開催します。AOIの舞台に立ちたい人、ふるってご応募ください。

ただいま
申込
受付中!!

第11期「ピアニストのための
アンサンブル講座」(ピアノ伴奏法講座)
申込締切／5月22日(日) 必着
聴講生随時募集中!
今回は講師に漆原啓子、川本嘉子、寺谷千枝子の各氏を迎え、それぞれヴァイオリン、ヴィオラ、声楽(メゾソプラノ)とのアンサンブルに取り組みます。

第17回「静岡音楽館AOI
コンサート企画募集」事業
申込締切／6月26日(日) 必着

AOIでは静岡ゆかりの演奏家を支援しています。一緒にコンサートを制作してみませんか。

いずれも詳しくは各募集要項をご覧ください。
募集要項は静岡音楽館AOIのホームページからダウンロードできるほか、7階受付カウンターでご用意しています。

2016-17

静岡音楽館AOIコンサートシリーズ

コンサート・シリーズ2016-17のラインナップが決定しました。どの公演もAOIが自信を持っておすすめできるものばかりです。みなさまのご来場をお待ちしています。

[第1期] 好評発売中!

フランスが世界に誇るパーカッションの貴公子

ティエリー・ミログリオ パーカッション・ライブ“Next Plus”

～ソロ・パーカッションとライブ・エレクトロニクス “世界最先端”の音楽とその潮流～

5/3(火・祝) 15:00 開演 (14:30 開場)

全指定¥3,000(会員¥2,700、22歳以下¥1,000) [Pコード=280-007]

出 演

ティエリー・ミログリオ (パーカッション)

曲 目

K.サリアアホ：3つの川ーデルタ～ソロ・パーカッションとライブエレクトロニクスのための～ (日本初演)
B.マントヴァニ：ル・グラン・ジュ～ソロ・パーカッション、ライブエレクトロニクスとビデオのための～
野平一郎：新作～ソロ・パーカッションとライブエレクトロニクスのための～ (世界初演)
J-H.フェルナンデス：ホトトピー～ソロ・パーカッションとライブエレクトロニクスのための～ (日本初演)
P.エトヴェシュ：稲妻～ソロ・バスティンパニのための～
I.フェデレ：メタル・イースト・ジャーニー～ソロ・パーカッションのための～ (2016年度静岡音楽館AOI委嘱作品・世界初演)

講 演 会 作曲家の視点から

5/3(火・祝) 13:00～14:30 おはなし：イヴァン・フェデレ、野平一郎
静岡音楽館AOI 講堂 (7階) 無料 (要申込)

関連事業 T.ミログリオによるパーカッション・ワークショップ

5/4(水・祝) 15:00 開演 (14:30 開場)
静岡市清水文化会館マリナート リハーサル室 無料 (要申込)

ロシアの伝統を受継ぐ、

絢爛さと驚異的なテクニックを兼ね備えたピアノのプリンス

アレクサンダー・ロマノフスキー ピアノ・リサイタル

7/7(木) 19:00 開演 (18:30 開場)

全指定¥4,000(会員¥3,600、22歳以下¥1,000) [Pコード=280-010]

出 演

アレクサンダー・ロマノフスキー (ピアノ)

曲 目

R.シューマン：アラベスク ハ長調 op.18、ツツカータ ハ長調 op.7、謝肉祭 op.9
M.ムソルグスキー：組曲《展覧会の絵》

オーケストラを聴こう

ブラームス：交響曲全集Ⅱ

日本を代表するマエストロ 沼尻竜典による、情熱のブラームス

7/31(日) 15:00 開演 (14:30 開場)

全指定¥6,000(会員¥5,400、22歳以下¥1,000) [Pコード=280-011]

出 演

沼尻竜典 (指揮)
小林美樹 (ヴァイオリン)
ヘーデンボルク・直樹 (チェロ)
トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア (管弦楽)

曲 目

J.ブラームス：悲劇的序曲 op.81
ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲 イ短調 op.102
交響曲第2番 ニ長調 op.73



©Shingo Azumaya



©Serban Mestecaneanu



[第2期] 6/18(土)より発売 (静岡音楽館倶楽部会員先行発売6/11(土)より)

スーパー・ギタリスト3人による夢の競演

ギター3つの顔

福田進一(クラシック)×渡辺香津美(ジャズ)×沖仁(フラメンコ)

9/10(土) 18:00 開演 (17:30 開場)

全指定¥5,000(会員¥4,500、22歳以下¥1,000) [Pコード=280-012]

出 演

福田進一(クラシック・ギター)、渡辺香津美(ジャズ・ギター)、沖仁(フラメンコ・ギター)

曲 目

J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲 より、無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ より
E.モリコーネ：映画音楽 より
A.D.メオラ：地中海の舞踏
C.コリア：スペイン

渡辺香津美：ネコビタン・エックス ほか



第21回「静岡の名手たち」 オーディション合格者によるコンサート

9/24(土) 18:00 開演 (17:30 開場)

全自由¥1,800(会員¥1,620、22歳以下¥1,000) [Pコード=280-013]

出 演

第21回「静岡の名手たち」オーディション合格者

大地を揺るがす巨竹楽器の重低音

インドネシア・バリ島の 音楽“ジェゴグ”

～スアール・アゲン 超絶のアンサンブル～

10/1(土) 18:00 開演 (17:30 開場)

全指定¥3,500(会員¥3,150、22歳以下¥1,000) [Pコード=280-015]

出 演

スアール・アゲン

曲 目

ムバルン巨竹オーケストラ・パトル
バリ舞踏曲
ジョゲ・ブンブン ほか

静岡 室内楽フェスティバル2016

日本を代表する演奏家が
ここに集結! 夢のピアノ三重奏!!

小山実稚恵(ピアノ) 矢部達哉(ヴァイオリン) 宮田大(チェロ) による三重奏

10/8(土) 18:00 開演 (17:30 開場)

全指定¥5,000(会員¥4,500、22歳以下¥1,000) [Pコード=280-017]

出 演

小山実稚恵(ピアノ)、矢部達哉(ヴァイオリン)、宮田大(チェロ)

曲 目

L.v.ベートーヴェン：ピアノ三重奏曲第7番《大公》変ロ長調 op.97
P.I.チャイコフスキー：ピアノ三重奏曲《偉大な芸術家の思い出に》イ短調 op.50

静岡 室内楽フェスティバル2016

ヴァイオリンの潮流I

バロック、哀愁の讃美

エンリコ・オノフリ ヴァイオリン・リサイタル

10/29(土) 18:00 開演 (17:30 開場)

全指定¥5,000(会員¥4,500、22歳以下¥1,000) [Pコード=280-018]

出 演

エンリコ・オノフリ(バロック・ヴァイオリン)、リッカルド・ドーニ(チェンバロ)

曲 目

G.バッサーノ：リチェルカータ第2番
G.B.フォンターナ：ヴァイオリン・ソナタ第2番
G.A.P.メアッリ：ヴァイオリン・ソナタ第2番《ラ・チェスタ》
E.-C.J.ド・ラ・ゲール：ヴァイオリン・ソナタ第1番 ニ短調
A.ヴィヴァルディ：ヴァイオリン・ソナタ ニ短調 RV5
A.コレリ：ヴァイオリン・ソナタ《ラ・フォリア》op.5-12
F.A.ボンボルティ：インヴェンション ト短調 op.10
F.M.ヴェラチャーニ：ヴァイオリン・ソナタ op.2-5



講 演 会 ヴァイオリンの潮流I～バロック・ヴァイオリンの世界～

10/29(土) 16:00～17:30 講師：戸田薫(ヴァイオリン奏者)
静岡音楽館AOI 講堂 (7階) 無料 (要申込)

静岡 室内楽フェスティバル2016

ランチタイム・コンサート

トランペットとオルガンの響宴

N響首席トランペット奏者が奏でる魅惑のサウンド～AOIのオルガンの響きとともに～

11/2(水) 11:30 開演 (11:00 開場) ※12:30 終演予定

全指定¥1,800(会員¥1,620、22歳以下¥1,000) [Pコード=280-022]

出 演

菊本和昭(トランペット)、石丸由佳(オルガン)

曲 目

J.S.バッハ：主よ、人の望みの喜びよ BMW147
目覚めよと呼ぶ声あり BMW645
P.エベン：トランペットとオルガンのための《ウィンドウズ》 ほか



静岡 室内楽フェスティバル2016

第6回 アマチュア・アンサンブルの日

11/3(木・祝) 12:00 開演 (11:30 開場) ※20:00 終演予定

無料(申込不要)

※ただし定員によりご入場をお断り場合があります。

※未就学児もご入場いただけます。

(託児サービスはありません)



静岡 室内楽フェスティバル2016

静岡が誇る、AOI専属弦楽四重奏団!!

AOI・レジデンス・クワルテット

11/12(土) 18:00 開演 (17:30 開場)

全指定¥3,500(会員¥3,150、22歳以下¥1,000) [Pコード=280-023]

出 演

AOI・レジデンス・クワルテット

松原勝也、小林美恵(ヴァイオリン)、川本嘉子(ヴィオラ)、河野文昭(チェロ)

曲 目

L.v.ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第2番 ト長調 op.18-2
L.ヤナーチェク：弦楽四重奏曲第1番《クロイツェル・ソナタ》ホ短調
B.バルトーク：弦楽四重奏曲第4番 Sz.91

講 演 会 「弦楽四重奏の楽しみ方」

11/12(土) 16:00～17:30 講師：平野昭(静岡文化芸術大学名誉教授)
静岡音楽館AOI 講堂 (7階) 無料 (要申込)

講 演 会 “この1曲”をどことん語る

10/14(金)B.バルトーク：弦楽四重奏曲第4番 Sz.91
講師 竹内啓(静岡音楽館AOI 学芸員)

10/21(金)L.v.ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第2番 ト長調 op.18-2
講師 関本淑乃(静岡音楽館AOI 学芸員)

10/28(金)L.ヤナーチェク：弦楽四重奏曲第1番《クロイツェル・ソナタ》ホ短調
講師 小林旬(静岡音楽館AOI 学芸員)

いずれも19:00～20:30 静岡音楽館AOI 講堂 (7階) 無料 (要申込)

静岡 室内楽フェスティバル2016

輝きの金管アンサンブル・ワールド!!

伝説の金管五重奏 カナディアン・ブラス

11/22(火) 19:00 開演 (18:30 開場)

全指定¥5,000(会員¥4,500、22歳以下¥1,000) [Pコード=280-024]

出 演

カナディアン・ブラス

クリス・コレッティ、ケイレブ・ハドソン(トランペット)
バーナード・スカリー(ホルン)
アキレス・リアルマコブ・ロス(トロンボーン)
チャック・デーレンバック(チューバ)

曲 目

A.ララ：グラナダ
C.ハドソン：ホワイ・ローズ (日本初演)
A.ホルボーン：ムイ・リンダ ほか



子どものためのコンサート 親子で楽しむ!

クリスマス★コンサート《ミュージカルの世界》

12/23(金・祝) 15:00 開演 (14:30 開場)

全指定¥3,000(会員¥2,700、22歳以下¥1,000) 親子券¥3,500 [Pコード=280-025]

出 演

野平一郎(指揮、ピアノ)、福田進一(ギター)、幸田浩子(ソプラノ)、吉田浩之(テノール)

AOI・レジデンス・クワルテット

[松原勝也、小林美恵(ヴァイオリン)、川本嘉子(ヴィオラ) 河野文昭(チェロ)]

守谷由香(ソプラノ)、第18期「子どものための音楽ひろば」受講生 ほか

曲 目

R.ロジャーズ：ミュージカル《サウンド・オブ・ミュージック》より ほか

※未就学児もご入場いただけます(ただし、演奏中静かにしていられなくなった場合は、一旦ご退席くださいますよう協力のほど
よろしく願いいたします)。

※未就学のお子様も1人につき1枚チケットが必要です。

[第3期] 10/22(土)より発売 (静岡音楽館倶楽部会員先行発売10/15(土)より)

悠久の時空を越え響く“笙”の調べ

新春 宮田まゆみ 笙リサイタル

2017 1/14(土) 18:00 開演 (17:30 開場)

全指定¥3,000(会員¥2,700、22歳以下¥1,000) [Pコード=280-027]

出 演

宮田まゆみ(笙)、吉野直子(ハープ)、中村仁美(華簫)、
八木千咲(龍笛)

曲 目

雅楽古典 平調調子 J.ケージ：One⁹
平調入調(遠藤敬復曲・監修) 野平一郎：内なる声
平調音取 伊藤弘之：題未定
越天楽 細川俊夫：うつろひ
雙調調子 雅楽古典 壹越調調子
春庭楽



世界のケラスとメルニコフが奏でるベートーヴェンの傑作

ベートーヴェン：チェロ・ソナタ 全曲集

ジャン＝ギアン・ケラス(チェロ)

アレクサンドル・メルニコフ(ピアノ)

デュオ・リサイタル

3/5(日) 15:00 開演 (14:30 開場) ※17:30 終演予定

全指定¥5,000(会員¥4,500、22歳以下¥1,000) [Pコード=280-028]

出 演

ジャン＝ギアン・ケラス(チェロ)

アレクサンドル・メルニコフ(ピアノ)

曲 目

L.v.ベートーヴェン：
チェロ・ソナタ第1番 ヘ長調 op.5-1
第2番 ト短調 op.5-2
第3番 イ長調 op.69
第4番 ハ長調 op.102-1
第5番 ニ長調 op.102-2



© Marco Borggreve



お得なセット券もあります! 詳しくはチラシ、ホームページ等でご確認ください。